

にじいろ 第6号

発行:公立宍粟総合病院

編集:広報委員会



〒671-2576 兵庫県宍粟市山崎町鹿沢 93

TEL 0790-62-2410

公式サイト <http://www.shiso-hp.jp/>

FAX 0790-62-0676

メールアドレス info@shiso-hp.jp

2011 年 11 月 1 日

＝当院の理念＝ 私たちは地域の皆様から信頼され親しまれる病院をめざします

研修医を育てる病院へ！

基幹型臨床研修病院に指定されました

医師法では、医師は医師資格取得後 2 年間の初期臨床研修を受けなければならないとされています。

当院では従来から、協力型臨床研修病院として大学病院などで初期研修を受ける研修医を短期間受け入れていましたが、平成 23 年 9 月 14 日

付けで厚生労働省から基幹型臨床研修病院の指定を受け、研修医を単独で採用することができる病院になりました。

当院は地域の中核病院として、地域の皆様から信頼され親しまれる病院をめざしています。ぜひ多くの研修医に当院での初期臨床研修を受けていただき、将来の地域医療を担う医師に育っていただきたいと考えています。



研修医の声

9 月から 10 月の 2 か月間、兵庫医科大学から研修に来ていた栗並医師に当院での研修の感想を聞きました。



大学ではなく、宍粟総合病院を選択した理由は、これから私が一般診療をしていくうえで遭遇するであろう疾患を学べると思ったからです。

近隣に大きな病院が他にないことや、高齢者が多いということで先生方の患者さんや疾患に対する考え方が、今まで教わってきたものと違うところもあり、田舎生まれの私にはとても重要なことを教えていただいたと感じています。

外科の先生方には、非常に親切にご指導いただきました。外科の先生だけでなく、医局の先生方、手術室や病棟の看護師さん、総務部の方々にはたった 2 か月しかいない私にとっても親切にいただきました。こんなに快適に研修生活を送れたのは皆さんのおかげです。

この病院で学んだことや親切にいただいたことを決して忘れることなく、これからまた大学へ帰り学んでいきたいと思います。

兵庫医科大学研修医 栗並 昇



マイコプラズマ肺炎に注意！

秋から冬にかけて、気温が下がり空気が乾燥するとウィルスや細菌による感染症が流行します。今年はマイコプラズマ肺炎の増加が感染症情報センターから報告されています。

1. マイコプラズマ肺炎とは

マイコプラズマ・ニューモニア (*Mycoplasma pneumoniae*) という細菌によって症状がでる呼吸器感染症です。発熱や体のだるさ以外にせきが長引くのが特徴です。また、通常の肺炎にくらべ、抗生物質が効きにくく、診断が遅れた場合には、症状が重くなったり、脳炎や髄膜炎をおこすこともあります。

2. 感染する年齢は

全ての年齢層で感染のリスクがあります。感染症発生動向調査結果によると、日本での罹患年齢は幼児期、学童期、青年期が中心です。9歳未満の小児が6～7割を占めており、2011年も同様の傾向があります。

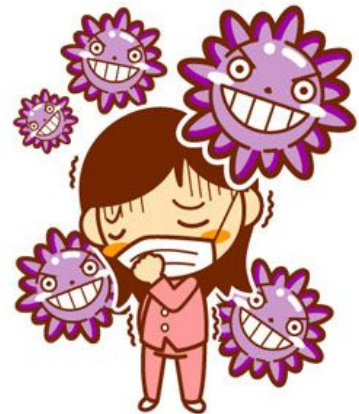
3. 感染する時期は

1年を通して報告がありますが、例年、秋から冬にかけて流行が見られます。今年は、6月頃から発生数が多くなり、流行時期が早くなっています。

4. 感染経路は

マイコプラズマ肺炎にかかった人のせきやくしゃみなどのしぶきに含まれる病原体が空気中に飛び散ったものを、吸い込むことによって感染します(飛まつ感染)。

また、飛び散った病原体が口や鼻・目に接触することでも感染します(接触感染)。



5. 潜伏期間は

通常、1～4週間です。発熱に続いてせきが出現し、解熱回復した後もせきが3～4週間続く場合があります。

6. 予防方法は

予防接種や薬の予防投与はありません。マイコプラズマ肺炎は多くは自然に治りますが、せきがとても強い場合などに家族や友人間や学校などの集団生活の中で感染が広がりやすい感染症です。また、せきエチケットと手洗いが大切です。



感染症予防のため、せきエチケットを守りましょう。

せきエチケット3か条

1. せき・くしゃみの症状があるときは、マスクをする。
2. せき・くしゃみをするときは、口と鼻をティッシュでおおう。
3. せき・くしゃみをするときは、周りの人から顔をそむける。

一職場紹介一

検査科



検査科は、開院当初(昭和 50 年)ほとんどの検査を外部に委託していましたが、迅速な診断ができないことから設備の拡充を続け、今日では大部分を院内で処理し、待ち時間を短縮することができるようになりました。現在は客観的なデータに基づく医療が主体で、臨床検査は診断・治療にとって縁の下の力持ちとして、欠かすことのできないものとなっています。

臨床検査技師 8 人、事務員 1 人の合計 9 人のスタッフで、年間 63 万件の検査を実施しています。医師をはじめ各医療スタッフとのチームワークや、検査科スタッフが患者さんの採血をおこなうなどにより、迅速で正確なデータ提供に努め、患者さんに信頼される医療を提供しています。

昨年度は最新の血液自動分析装置を導入し、より正確なデータを提供できるようになりました。これからも検査の職能集団として、スタッフ一同、力を一つにして取り組みます。



9 人のスタッフで年間約 63 万件の検査を担当。(写真は、検査室にて指導医の福田医師を囲んで。)

永年の功績を表彰

透析センター長の山城有機医師が、「へき地医療貢献者表彰」を受けました。この表彰は自治体病院などに勤務する医師で、山村・離島等医療に恵まれないへき地等における医療確保に献身的に尽くしている功労者を全国自治体病院開設者協議会及び社団法人全国自治体病院協議会が表彰するものです。

山城医師は平成8年に当院に着任以来、透析センターの責任者として、また、内科一般、救急医療などの診療に従事してきました。山城医師の誠心誠意な努力と患者さんへの真摯な姿勢により透析患者さんが増え、地域の透析医療の中核を担うまでになりました。今回、その功績により表彰を受けました。

今後ますますの活躍を祈念します。



糖尿病教室のご案内

糖尿病とうまく付き合っていくために「糖尿病についての正しい知識」を持ちましょう！

日時：平成 24 年 1 月 22 日（日）午後 1 時～3 時 場所：2 階講堂

内容：冬の食べ物について

※ 今年度の教室に今回初めて参加される方はテキスト代 100 円が必要です。

●問合せ先 Tel.0790-62-2410(代) 内科外来

お知らせ



■ 救急入口通行禁止のお知らせ

平成 24 年 1 月 31 日まで救急処置室等の改修工事をおこなっています。期間中は事故防止のため救急入口の通行を禁止します。長期にわたりご迷惑をおかけしますがご協力願います。

○通行禁止期間及び時間：

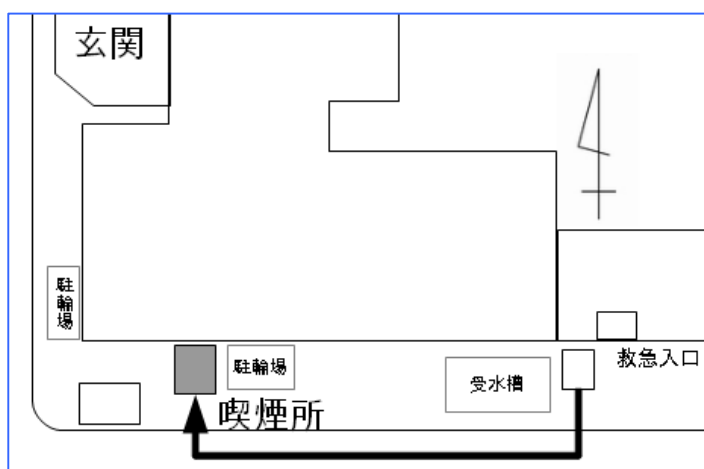
平成 24 年 1 月 31 日までの期間

平日の午前8時から午後6時まで



■ 喫煙所移転のお知らせ

上記工事に伴い喫煙所が移転しています。移転先は病院南側駐輪場の西隣です。(図参照)
※喫煙所以外での喫煙は固くお断りします。



■3階北病棟の面会制限について

インフルエンザ、ノロウィルスの患者さんが増加すると、感染予防のため面会禁止とさせていただきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

—おすすめレシピ— くりーみー♪ 豆乳鍋

野菜に豆乳スープがよく絡んでシチューのような味わいになります。



(材料 2 人分)

豆腐	1/2 丁	豆乳	200ml
さけ	1 切れ	生姜 (すりおろし)	
白菜	1/8 株	小さじ 1/2	
ねぎ	1 本	鶏がらスープの素	
水菜	1/2 株	小さじ 1	
人参	1/4 本	塩	適宜
マイタケ	1 パック		
しいたけ	2 枚	(材料は人数で適宜増減してください。)	
水	300ml		

つくり方

- ① 豆腐は食べやすい大きさに切る。さけは4等分にし、熱湯をかける。
- ② 白菜はざく切り。水菜は 4～5cm 長さに切る。人参は 5mm の斜め輪切りにする。ねぎは 5cm の斜め切りにする。
- ③ マイタケは食べやすい大きさの房に分ける。しいたけは石づきをとり、飾り切りにする。
- ④ 鍋に豆乳、水、生姜、鶏がらスープの素を入れて火にかけ、材料を加えて煮る。最後に塩を入れ味を調える。